

## 6次産業化の取組み

後志地域では、9社の農林漁業者等が、加工・販売等にも取組む「6次産業化」を推進する計画を策定し、農林水産省から認定を受けている。（令和2年9月現在）  
 （農林水産省北海道農政事務所HP「6次産業化・地産地消法に基づく認定事業計画一覧（北海道）」から抜粋）

認定事業者名	市町村	事業内容	認定年月
アオキアグリシステム株式会社	倶知安町	自社経営のそば屋やインターネットを通じて自社製品の販売・提供	H23.10
農事組合法人 ロックスプリングス農場組合	赤井川村	自社生産の赤井川村産「そば」「米」による新商品の生産・販売促進事業	H24.2
辻野ポーク株式会社	留寿都村	辻野ポーク株式会社が生産した豚肉の加工・販売事業	H24.5
株式会社TOMONIゆめ牧舎	黒松内町	放牧主体の健康な乳牛から搾乳した自社生乳を使った乳加工製品の開発・生産・販売事業	H25.2
株式会社 OcciGabi Winery	余市町	余市町のワイン用ぶどうだけを使ったワイン製造と地場産食材を使ったレストラン、自家製ワインや地場産野菜、果物、水産加工品などを販売する売店等の複合事業	H25.9
株式会社 久島農産	共和町	規格外馬鈴薯を利用した惣菜用カット加工品の製造・販売事業	H25.10
株式会社 平川ワイナリー	余市町	地元産のぶどう等を原料とした高品質なワイン製造をし、高級レストラン・ホテルへの販売やパートナーの販路を活かした販売を行い、原材料の付加価値向上を目指す事業	H27.7
株式会社 NIKI Hillsヴィレッジ	仁木町	地元産のぶどう等を原材料としたワイン製造を行うとともにワインを楽しむことができるレストラン・物販店等を運営し、原材料の付加価値向上を目指す事業	H27.7
羊蹄グリーンビジネス株式会社	ニセコ町	国際リゾートNISEKOの外国人観光客をターゲットとした、ヴィニフェラ種ぶどうを使用したオーガニックワインの醸造・販売事業	H28.3

# 6 後志の工業

## INDUSTRY

食品製造関係（飲料・たばこ・飼料を含む）が製造品出荷額の6割以上を占め、地方資源型工業の中でも農林水産物の利用割合が高い。

### 後志の工業の特徴

#### 全道との比較

- ・ 事業所数 336カ所（全道の6.6%）
- ・ 製造品出荷額 約2,322億円（全道の3.7%）
- ・ 従業者数 10,134人（全道の6.0%）
- ・ 後志の事業所の約71%が従業員数30人未満。
- ・ 従業員1人当たりの製造品出荷額・・・約2,291万円（全道平均3,714万円の61%の水準）

出典：令和元年工業統計確報

